



かがやき☆すくわく通信 vol.2

かがやき保育園 R8年1月7日発行



幼児クラスでは引き続き、すくわくプログラムに取り組んできました。
子ども達の様子から保育者が活動を考えていますが、子ども達ならではの目線での発見もあり、次の活動に繋がっていくという事もありました。



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

3歳児

・スライム作り (8月)

造形で小麦粉粘土遊びを行った時の子ども達の反応から、スライム作りの活動を決めました。グルー毎に色を決めて、目の前で洗濯のりと水を混ぜたものにホウ砂と食紅を入れて形状が変わる様子を観察し、実際にスライムの感触も楽しみました。



・色水遊び (10月)

透明のプラスチックカップに水を入れて、好きな色のえのぐを混ぜて色水遊びを楽しみました。できた色を嬉しそうに見せてくれたり、友達同士で「かんぱーい」と言っていたりそれぞれが楽しんでいました。3原色+白を使っていたので、全ての色を混ぜる子もいれば、2色程度で終わりにする子もいました。



4歳児

・エサ調べ (9月)

マリーちゃんは何を食べるのかを困難で調べ、幼虫を食べる事を知り、園庭で見つけた幼虫を虫かごに入れてみたところ、頭と同じくらいのサイズでしたが、しっかり食べていました。



・食べる様子の観察 (11月)

ミライタッチ (電子黒板) を使用して全員で観察しました。1匹ずつ観察するとマリーちゃん (一番始めから飼っていたヤモリ) のみ捕食の様子を見ることができました。エサを見つけ目で追う様子が見え、コオロギを食べた時は子ども達が「食べた!」と喜び拍手が起こりました。他の2匹は人がいない時にエサを食べているという事がわかりました。



5歳児

・千千ミ作りの際、「韓国の人はどうやっていただきますっていうんだろう?」という子どもの声からすぐに調べ、実際に韓国語で挨拶をしてから食事をしました。すると翌月のピザ作りの際にも挨拶に興味を示す姿が見られました。調べていく中で、いただきますに該当する挨拶がない国があることも分かり、子ども達は興味を示していました。普段の給食で中華料理やイタリアンなどのメニューが出た際にも得た知識を用いて挨拶をする姿もみられました。



・ミライタッチを使用し「世界の食と文化」のサイト (Meiji のサイト) をみんなで共有しました。その場で世界についての事を知ったり、挨拶の音声を聞くことができ、子ども達もとても楽しんでいました。

